

修了生からの
お便り



大学院での 素晴らしい出会い



私は、平成16年に大学院の学習臨床コース情報教育分野に入学しました。入学して驚いたことは、現職教員の学生がストリートマスターよりも多いことでした。自分は教師になりたいと思っただけでしたが、当時は全然、学校現場のことが分からなかったため、現職の皆さんと2年間、一緒に勉強させていただいたことは本当に貴重な経験でした。特に自分の研究について、学校現場の目線でアドバイスをいただいたり、研究を含め、学校現場の様々なことを教えてもらえたりしたことは、とても有り難い機会でした。

現在、私は中学校で英語を教えています。中堅という立場になった今、自分が力を入れていることは、研究主任の仕事です。新学習指導要領に掲げられている「社会に開かれた教育課程」を目指し、キャリア教育を中心に据えたカリキュラム開発を学校の研究主題として取り組んでいます。

当校は平成30年度からパナソニック教育財団より、2年間の特別研究の指定を受け、活動助成金と大学教授によるアドバイスをいただきながら、研究を進めています。今回、iPadを14台購入(大小7台ずつ)し、授業や校外学習において、生徒がペア活動やグループ活動などで効果的に活用する実践に取り組んでいます。最近では部活動や生徒会活動など、授業外で生徒が自主的に活用する機会が

増えてきました。

上越教育大学に入って良かったと思うことは、今でも当時の経験が生かされていることです。2年間の学習で培った知識や、同じ情報分野の方々とのつながりが、本当に助けになっています。十数年経った今でも、それぞれの現場で活躍されている先生方と連絡を取り、関わらせてもらっています。最近では同じ研究室だった佐藤和紀先生(現在、常葉大学講師)との再会がきっかけで、研究フィールドに戻って学会や研究会で実践発表を行っています。

修了後もこうしてつながっていく大学院での素晴らしい出会いに感謝し、今後も努力を続けていきたいと思っています。



山崎 寛山
(やまざき のりたか)

新潟県長岡市出身。平成18年3月に学習臨床コース情報教育分野修了後、柏崎市立第一中学校非常勤講師を経て、新採用で新潟市立山潟中学校に着任。その後、上越市立清里中学校、糸魚川市立糸魚川中学校勤務を経て、現在は三条市立大島中学校勤務。研究主任、情報担当。免許は、英語(中高)、情報(高)、特支二種。現在、上越教育大学学校教育実践研究センター研究員、NHK ICT 研修ファシリテーター養成講座4期生、等。